

【交付金：社会資本整備総合交付金】

社会資本総合整備計画 事後評価

計画名

平良港における多様な交流を促進するにぎわいのある港づくり

平成 28 年 4 月

宮古島市 建設部 港湾課

社会資本総合整備計画 評価書（事後評価書）

平成 28年 4月

計画の名称	1 平良港海岸における多様な交流を促進するにぎわいのある港づくり									
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)			交付対象	宮古島市					
計画の目標	物流の効率的・安定的な貨物輸送をするための港湾へのアクセス道路を整備し、物流、交流及び観光拠点である港の機能強化を行うとともに、にぎわいのある港づくりを図る。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 臨港道路を整備することにより整備率が54%（H22）から69%（H26）に増加 									
定量的指標の定義及び算定式	$\text{整備率} = \frac{\text{整備路線数}}{\text{（港湾計画路線数）}} \times 100\%$						定量的指標の現況値及び目標値		備考	
	平良港の臨港道路整備率の割合						当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
							54%	69%	69%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	291百万円	A	289百万円	B	0百万円	C	2百万円	効果促進事業費の割合 $C / (A+B+C)$	0.7%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
計画期間終了後、必要データを速やかに招集し事後評価を実施する。	平成26年度
	公表の方法
	宮古島市のホームページ等で掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 海岸事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	港湾種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	港湾	沖縄	宮古島市	直接	宮古島市	重要	建設	臨港道路の整備	延長L=525m	平良港・トゥリパー地区						224	継続
1-A1-3	港湾	沖縄	宮古島市	直接	宮古島市	重要	改良	臨港道路の改良	歩道の改良、照明施設整備	平良港・下崎地区						20	
1-A1-5	港湾	沖縄	宮古島市	直接	宮古島市	重要	建設	臨港道路の整備	延長L=300m	平良港・漲水地区						45	
											小計（道路事業）					289	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
											合計						

【社会資本整備総合交付金 事後評価結果 総括表】

平成28年.4月
沖縄県 宮古島市

計画番号	計画の名称	交付団体	着手年次	完了(予定)年次	計画の成果目標(最終)	要素事業の進捗状況				評価指標の実現状況					事業効果	
						中間評価時点				中間評価時	最終年度					H26末目標達成率
						全体事業数	未完了事業数	完成済			目標値	実績値	増減(%)	備考		
								事業数	施設名							
1	平良港における多様な交流を促進するにぎわいのある港づくり	沖縄県 宮古島市	H22	H26	臨港道路を整備する事により整備率が54%(H22)から69%(H26)に増加	3	1	2	・漲水3号線 ・下崎1号線	69%	69%	69%	±0	1路線(臨港道路伊良部島線)については、次計画へ継続移行	100%	輸送経路の向上等
			H22	H24	船たまりの防波堤移設を行うことにより防波堤延長を90mから140mに延伸させ整備率の向上を図る	1	0	1	・下里船たまり防波堤	100%	100%	100%	±0	沖縄振興公共投資交付金へ移行の為、計画から削除	100%	安全性の向上等
			H22	H22	緑地を整備する事により整備率が77%(H22)から78%(H26)に増加	1	0	1	漲水地区緑地(北)東屋	78%	78%	78%	±0	〃	100%	緑地率の増加等
			H22	H23	国有港湾施設を除く、港湾施設について効率的・効果的・計画的な維持管理を実施する。	1	0	1	・維持管理計画書作成	100%	100%	100%	±0	〃	100%	計画的な維持管理
			H26	H26	一体的に実施することにより期待される。	1	1	0	案内板	0%	100%	100%	±0	H26に案内板設置	100%	効果促進

平良港における多様な交流を促進するにぎわいのある港づくり①

事業主体 沖縄県 宮古島市
計画期間 H22～26

■計画の概要

計画の目標

物流の効果的・安定的な貨物輸送をするためのアクセス道路の整備

成果目標

港湾計画に基づく臨港道路を整備することにより整備率が54%から69%に増加する。

赤枠: 社会資本整備計画期間(H22～H26)

整備年度	H22	H23	H24末	H25	H26末	H27	H28	H29以降
整備済路線	7	9	9	9	9	10	—	—
整備率	54%	69%	69%	69%	69%	77	—	—
備考	・漲水3号線	下崎1号線				臨港道路伊良部島線	—	—

事業内容

青枠: 社会資本整備計画期間(H27～H31)

要素事業数 3 (内1路線については、H27～の計画で継続)

- ・ 臨港道路の整備 L=525m
- ・ 臨港道路の改良 歩道の改良・照明施設整備
- ・ 臨港道路の整備 L=300m

■中間評価の結果

事業実績

完成した代表例

整備前



整備後



輸送経路の向上

漲水3号線: 臨港道路の整備

成果目標

平良港の臨港整備率の割合

$$\text{整備率} = \text{整備路線数} / (\text{港湾計画路線数}) \times 100\%$$

$$9 / (13) \times 100 = 69.23 \div 69\% \text{ 目標通り達成}$$

今後の方針

港湾区域内の物流の効果的・安定的な貨物輸送の向上を図るため、港湾計画の改定(H29予定)以降、整備を行っていきたい。

平良港における多様な交流を促進するにぎわいのある港づくり②

事業主体 沖縄県 宮古島市
計画期間 H22～26

■計画の概要

計画の目標

物流、交流及び観光拠点である港の機能強化を行うとともに、にぎわいのある港づくりを図る。

成果目標

基幹事業と一体的に整備することにより、港湾施設の利便性を高める。

港湾内の案内板の設置

赤枠: 社会資本整備計画期間(H22～H26)

年度	H22	H23	H24末	H25	H26末	H27	H28	H29
計画策定数	-	-	-	-	1	-	-	-
策定率	-	-	-	-	100	-	-	-
備考								

事業内容

効果促進事業

- 港湾内の案内板の設置

■効果促進事業

事業実績

要素事業数 1件

- 港湾内の案内板の設置



(設置された案内板①)

平良港入り口



(設置された案内板②)

漲水地区



(設置された案内板③)

トゥリバー地区

今後の方針

今後、港湾施設の増加に伴い、必要に応じて、案内板の更新を図る。